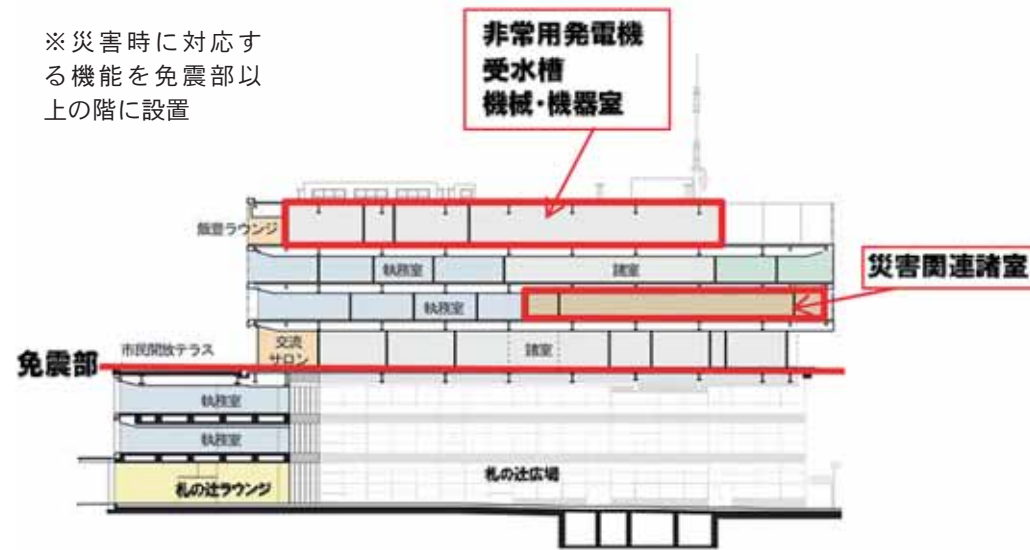


■各種防災機能を備えた庁舎

建物本体に伝わる地震エネルギーを軽減する免震構造を採用し、地震による被害を最小限に抑えます。災害時の防災拠点としてすみやかに始動でき、かつ非常時にも電気や水の確保ができる庁舎とします。

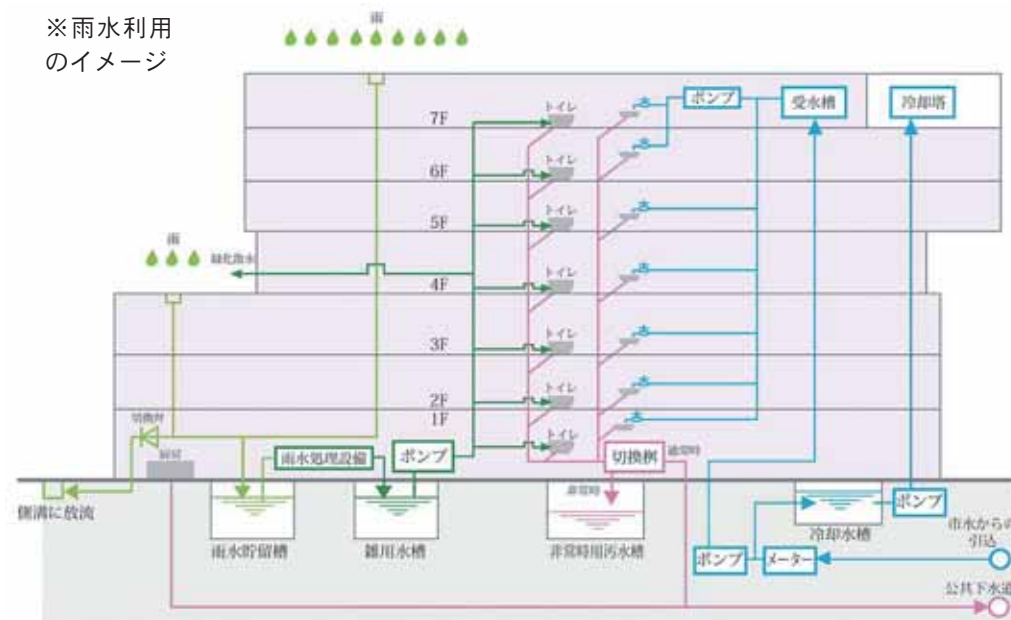
また、災害時には、5階災害関連諸室は防災拠点として機能します。

※災害時に対応する機能を免震部以上の階に設置



■環境に配慮した庁舎

※雨水利用のイメージ



雨水利用、太陽光発電、自然換気などによってエネルギー消費量を削減し、ライフサイクルコストや二酸化炭素の排出量の削減を図ります。

また、空調熱源の発電時に発生する排熱を保温水などに有効利用します。



▼昨年11月から、新庁舎建設予定地の一部で、敷地整備工事を行っています。

▼新庁舎の完成時期を、平成27年度末(平成28年3月)としていましたが、東日本大震災などの影響による資材調達の遅れが心配されるため、平成28年度内の完成を目指すスケジュールで見直しを進めています。詳細は、随時お知らせします。



新庁舎の建設に向けて— 新庁舎の「実施設計」がまとまりました

■問合せ先=新庁舎建設課 (☎ 22-3101)



地域交流センター駐車場敷地に建設を予定している新庁舎。市では、仕様や機能などの概要をまとめた「基本設計」(「広報しばた」平成25年5月1日号に掲載)に基づき、これまで内容の検討を行ってきました。

このたび、この検討結果を踏まえ、実際の工事などに必要な詳細事項を盛り込んだ「実施設計」がまとまりましたので、設計概要と、特に機能の配慮を行った「防災」と「環境」について紹介します。

なお、各階の配置計画などの詳細は、次号でお知らせします。

設計概要

建設地=中央町3丁目392番地ほか
敷地面積=5,739.73㎡ 建築面積=2,841.31㎡
延床面積=12,995.69㎡
構造=鉄筋コンクリート造+鉄骨造、免震構造
階数=地上7階、地下1階 高さ=33.82m
駐車台数=自動車71台、原付バイク7台、自転車136台